

新鉄構企業訪問

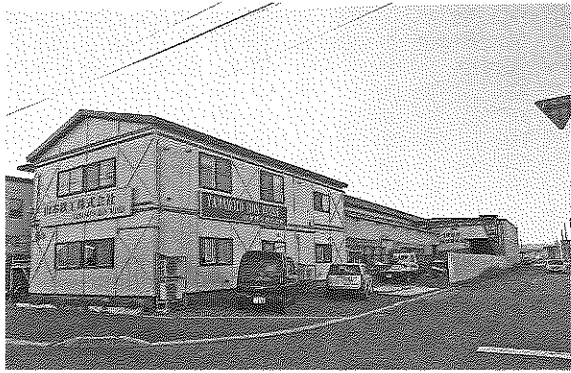
No. 1262

山本鉄工株式会社

(北海道)

北海道のMグレードファブ、山本鉄工(本社・北海道函館市)は1946年、現社長・山本淳也氏の祖父、山本三郎氏が函館市東雲町で鉄工所を創業したことに始まる。2003年には経営合理化・効率化のため、同市西栲梗町に本社・工場を移転・集約し、現在に至る。近年では市中の高層ホテルから図書館、体育館など意匠性に富んだS造ならではの複雑な構造の鉄骨建方を多く手がけている。

現在の函館市は北海道新幹線開業と観光インバウンドの高まりから、駅前地区を中心に多くのホテルが建設中、または計画が具体化している。このような状況から函館道南地区のファブの稼働率は軒並み100%と報告されているが、同社は図面の遅れに悩まされる局面もなく工程を円滑に進めている。これは元請けの



本社・工場外観

データファイル

- ▶本社・工場 北海道函館市西栲梗町855-8
TEL 0138・48・9373
FAX 0138・48・9375
- ▶敷地面積:本社工場 約3900平方m、金庫工場(塗装工場) 約3000平方m
- ▶創業 1946年(昭和21年)11月
- ▶代表取締役社長 山本 淳也(1963年4月8日生まれ)
- ▶国土交通大臣認定 Mグレード
- ▶従業員数 20人
- ▶資本金 3000万円
- ▶年商 約6億円
- ▶年間加工能力 3000t
- ▶主要取引先 地場ゼネコン各社、大和ハウス、五洋建設
- ▶主要取引銀行 うみ街信用金庫、北洋銀行五稜郭支店、北海道銀行函館支店、みちのく銀行函館営業部
- ▶主要鋼材・副資材仕入先 藤商事、藤光鋼材、フルサト工業、コンドーテック
- ▶主要資格者 建築士2級・1人、WES 2級・3人、NDI-UT レベル2・3人、鉄骨製作管理技術者1級・5人、同2級・3人、建築鉄骨製品検査技術者・8人、鉄工技能士・1級1人

鉄骨CAD専用・汎用フル活用で工程円滑化

従業員の福利厚生
の充実にも力を
入れている。(岡部)

協力による迅速な対応もさることながら同社工務部の技術力も大きく寄与している。同社は一昨年の創業70周年を機に社員休憩所とCAD室からなる設計棟を新設し、従来のシグマF1に加え、ドッドウエル B・M・Sのリアル4を2台導入

技術者が担当している。今年竣工した今金町総合体育館新築工事(瀬棚郡今金町)ではリアル4を駆使し、複雑な立体パイプトラス構造の作図を手がけるなど、山本

社長が目指す技術力の向上が如実に表れてきている。同社は今年、創業72年を迎える老舗ファブだが、全社員の平均年齢は30歳と若く活力あふれる企業。3代目社長の淳也氏は「鉄骨ファブの仕事を通じ函館市と道南地域の発展に貢献したい」と郷土愛に根差した経営を心がけている。また、働き方改革を通じ女性社員



現在、工務課長の岡本氏、藤恭代氏と佐藤百香氏の2人の女性



したことに長より工作面の高効率化を図った。工作図は

社長の平均年齢は30歳と若く活力あふれる企業。3代目社長の淳也氏は「鉄骨ファブの仕事を通じ函館市と道南地域の発展に貢献したい」と郷土愛に根差した経営を心がけている。また、働き方改革を通じ女性社員

株式会社 中山製鋼所

模様鋼板

【摩擦係数】

単位:μ

	模様鋼板	平鋼板	縞鋼板
原板のまま	0.812	0.781	0.774
撒水状態	0.617	0.338	0.370
新聞インキ	0.370	0.189	0.294
潤滑油	0.360	0.052	0.164

厚さ	最大幅 mm
3.2mm、4.5mm、6.0mm	1219mm

材質はSS400相当です。

指定寸法でのご発注にも対応させていただきます

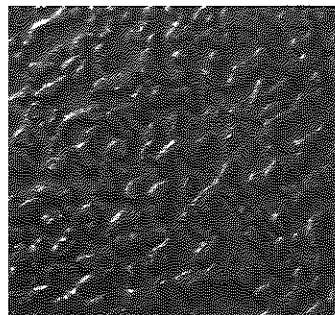
販売元: 中山通商 株式会社

本社: 大阪市西区南堀江1丁目12番19号(四ツ橋スタービル7F)

TEL (06)6538-2471

東京: 東京都中央区日本橋2-15-5(PMO日本橋二丁目9F)

TEL (03)3516-7511



工場・店舗の床材に

独特の凹凸で滑りにくい

縞目がないから台車もスムーズ

山本鉄工(函館市)

鉄骨CAD専用・汎用フル活用で工程を円滑化



＜奥行き110mの工場＞

函館市のMグレードファブ山本鉄工は昭和二十一年、現社長・山本淳也氏の祖父、山本三郎氏が函館市東雲町で鉄工所を創業、平成十五年に経営合理化・効率化のため、同市西桔梗町に本社・工場を移転集約し現在に至る。近年では市中の高層ホテルから図書館、体育館など意匠性に富んだS造ならではの複雑な構造の鉄骨建方を多く担っている。

函館市は現在、北海道新幹線開業と観光インパウンドの高まりから、駅前地区を中心に多くのホテルが建設中、また計画が具体化している。このような状況から道南地区のファブの稼働率は軒並み一〇〇％と報告されているが、同社は図面の遅れに悩まされる局面も無く工程を円滑に進めている。これは、元請の協力による迅速な対応もさながらに、工務部の技術力も工程円滑化に大きく寄与している。

一昨年の創業七〇周年を機に、社員休憩所とCAD室からなる設計棟を新設し、従来のシグマF1に加え、ドツドウエルB・M・Sのリアル4を二台導入。これにより工作図面の高効率化を図った。現在工作図は、工務課長の岡本恭代氏と佐藤百香氏の二名の女性技術者が担当。今年竣工した今金町総合体育館新築工事ではリアル4を駆使し複雑な立体パイプトラス構造の作図を手掛けるなど、山本社長が目指す技術力の向上が如実に顕れてきている。

同社は今年、創業七十二年を迎える老舗ファブであるが全社員の平均年齢は三十歳と、若く活カあふれる企業。三代目社長の淳也氏は、「鉄骨ファブの仕事を通じて、函館市と道南地域の発展に貢献したい」と郷土愛に根ざした企業運営を心がけている。また、働き方改革を通して、女性社員の幹部登用や残業の軽減とともに、土日祝を休業とする完全週休二日制を視野に入れた工程を組むなど、従業員からの福利厚生の充実にも力をいれている。

目社長の淳也氏は、「鉄骨ファブの仕事を通じて、函館市と道南地域の発展に貢献したい」と郷土愛に根ざした企業運営を心がけている。また、働き方改革を通して、女性社員の幹部登用や残業の軽減とともに、土日祝を休業とする完全週休二日制を視野に入れた工程を組むなど、従業員からの福利厚生の充実にも力をいれている。

＜工務部のメンバー＝左から高岡悟係長、掛村知道次長、佐藤氏、岡本課長＞

山本鉄工は▽事務所・工場Ⅱ函館市西桔梗町八五五番八、TEL〇一三八一四八〇九三七三、FAX四八八〇九三七五▽敷地面積Ⅱ本社工場約三千九百平方メートル、金堀工場(塗装工場)約三千平方メートルⅡ創業Ⅱ昭和二十一年十一月Ⅱ国土交通大臣認定ⅡMグレードⅡ従業員数Ⅱ二十人Ⅱ資本金Ⅱ三千万円Ⅱ年商Ⅱ約六億円Ⅱ年間加工能力Ⅱ三千トⅡ主要取引先Ⅱ地場ゼネコン各社、大和ハウス、五洋建設Ⅱ主要鋼材・副資材仕入先Ⅱ藤商事、藤光鋼材、フルサト工業ⅡコンドクターⅡ主要資格者Ⅱ建築士二級一人、WES二級三人、NDIⅡUTレベル2・三人、鉄骨製作管理技術者一級五人、同二級三人、建築鉄骨製品検査技術者八人、鉄工技能士一級一人。

山本鉄工は▽事務所・工場Ⅱ函館市西桔梗町八五五番八、TEL〇一三八一四八〇九三七三、FAX四八八〇九三七五▽敷地面積Ⅱ本社工場約三千九百平方メートル、金堀工場(塗装工場)約三千平方メートルⅡ創業Ⅱ昭和二十一年十一月Ⅱ国土交通大臣認定ⅡMグレードⅡ従業員数Ⅱ二十人Ⅱ資本金Ⅱ三千万円Ⅱ年商Ⅱ約六億円Ⅱ年間加工能力Ⅱ三千トⅡ主要取引先Ⅱ地場ゼネコン各社、大和ハウス、五洋建設Ⅱ主要鋼材・副資材仕入先Ⅱ藤商事、藤光鋼材、フルサト工業ⅡコンドクターⅡ主要資格者Ⅱ建築士二級一人、WES二級三人、NDIⅡUTレベル2・三人、鉄骨製作管理技術者一級五人、同二級三人、建築鉄骨製品検査技術者八人、鉄工技能士一級一人。

北海道鋼友会秋の例会

＜非鉄金属メーカー建値推移＞

(月初価格、円当たり)

平成30年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
電気銅	850,000	810,000	780,000	740,000	800,000	780,000	780,000	750,000	720,000	750,000		
電気鉛	351,000	344,000	330,000	308,000	316,000	329,000	329,000	301,000	284,000	292,000		
電気亜鉛	427,000	442,000	421,000	382,000	400,000	385,000	355,000	349,000	334,000	352,000		
金(円/g)	4,821	4,748	4,536	4,563	4,653	4,581	4,458	4,419	4,308	4,379		
銀(円/kg)	63,900	62,310	57,600	57,450	58,800	58,970	58,250	57,130	53,330	54,980		
平成29年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
電気銅	680,000	720,000	720,000	690,000	660,000	670,000	690,000	740,000	770,000	760,000	820,000	800,000
電気鉛	289,000	325,000	314,000	319,000	292,000	290,000	297,000	314,000	320,000	337,000	333,000	336,000
電気亜鉛	343,000	370,000	367,000	365,000	334,000	337,000	352,000	355,000	394,000	409,000	427,000	406,000
金(円/g)	4,417	4,423	4,593	4,488	4,561	4,550	4,536	4,525	4,654	4,683	4,673	4,640
銀(円/kg)	63,590	65,220	68,900	66,140	63,840	63,230	62,160	60,990	62,760	62,480	62,480	60,830
平成28年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
電気銅	610,000	600,000	600,000	610,000	610,000	560,000	540,000	530,000	520,000	530,000	550,000	710,000
電気鉛	276,000	266,000	263,000	258,000	254,000	245,000	240,000	244,000	253,000	249,000	274,000	320,000
電気亜鉛	241,000	247,000	250,000	262,000	262,000	262,000	268,000	280,000	289,000	277,000	304,000	355,000
金(円/g)	4,149	4,391	4,558	4,467	4,456	4,363	4,424	4,438	4,370	4,325	4,328	4,316
銀(円/kg)	54,690	56,890	5,980	56,550	62,360	58,210	63,370	67,700	63,590	63,450	61,570	61,760